

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	JR 篠ノ井線の利用促進と松本地域の観光振興等事業
事業主体 (連絡先)	篠ノ井線松本地域活性化協議会 0263-71-2401
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	
総事業費	1,122,542 円 (うち支援金: 572,000 円)

事業内容

松本地域の8市村、市村議会及び商工観光関係団体並びに長野県で構成する「篠ノ井線松本地域活性化協議会」を設立し、さらに地域住民や地元企業の協力を得ながら、篠ノ井線の利用促進及び松本地域の観光振興を図っていく。

- 1 篠ノ井線と松本地域の PR・情報発信
 - (1) 首都圏での PR 活動
 - (2) イベントの開催
 - (3) 法被、のぼり旗、PR 用ウェットティッシュ作成
- 2 利便性・快適性向上、時間短縮等の調査・研究
 - (1) 信州大学と連携して実施した利用実態調査の結果に基づく勉強会の開催 (松本・塩尻・安曇野)



【いろどり木曽路号おもてなし (9/24)】

【目標・ねらい】

- ① PR リーフレット約 2,000 部配布
- ② HP ページ約 2,900 件
- ③ プレ DC イベントへ沿線住民、団体が参加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

篠ノ井線 PR リーフレットを JR 大宮駅で配布するなどあわせて約 2,000 部を配布した。リーフレットを受け取った方からは松本地域へ関心をもつていただき利用促進を図ることができた。

信州プレ DC のクロージングイベントとして「いろどり木曽路号」が運行され、明科駅では明科駅前まちづくり委員会の協力により明科龍神太鼓による和太鼓の演奏や明科地域子ども育成会による手旗や横断幕による歓迎、車中では松本地域の方言劇、篠ノ井線及び松本地域の PR と各市村のノベルティやおやきを配布することにより篠ノ井線沿線地域の魅力を PR できた。

※自己評価 【B】

【理由】

JR 大宮駅においてリーフレットを活用し長野から松本地域への誘客活動が実施できた。プレ DC イベントに沿線住民や団体に参加いただくことで地域をあげて篠ノ井線沿線の魅力を PR できた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成 29 年度は、ディスティネーションキャンペーンが控えていることから JR と連携しながら地域住民の協力を得て列車内でのイベントを行う。さらに、先進地視察やパーク&ライドの設置の研究などより効果的な利用促進と利便性の向上について検討を行いたい。必要に応じて JR とも協議を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある